

■ 目次	吉田東伍記念博物館友の会の特定非営利活動法人移行について	1
	令和7年度総会及び特定非営利活動法人設立総会の開催について(ご案内) / 令和7年度会費納入のお願い	1
	連載「友の会から特定非営利活動法人へ」① / サークルだより	2
	初夏の研修旅行のご案内 / 友の会伝言板 / 編集後記	4

発行：吉田東伍記念博物館友の会 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1(阿賀野市立吉田東伍記念博物館内)
TEL 0250-68-1200 FAX 0250-68-5016

H P <https://togo-tomonokai.com/> **E-mail** info@togo-tomonokai.com **X(旧Twitter)** @y_togo

吉田東伍記念博物館友の会の特定非営利活動法人移行について

吉田東伍記念博物館友の会 会長 五十嵐 正 美

日頃は友の会の活動につきまして、会員各位より格別なるご理解・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、友の会は、平成10年の設立より長きに渡り、吉田東伍博士が愛した郷土の自然や文化を共に考える博物館活動を支えてきました。しかしながら時代の移ろいにより、少子高齢化や地域基盤の変化など、博物館を取り巻く環境も大きく変化してきております。このようななかで、今まさに生涯にわたって郷土を愛し、人びとや地域の暮らしを見つめ直そうとした吉田東伍を記念する博物館の存在意義は増々高まっています。

このことを受けて、友の会では、博物館の安定した運営に寄与していくためには、どうあるべきかということについて、定例総会の議題として取り上げ、特定非営利活動法人(NPO法人)設立発起人会を兼ねた友の会運営委員会において数年来の検討を重ねてきました。

その結果として、友の会が社会的な信用性や信頼性を高めて、事務や事業の担い手となり組織的な活動を行えるようにすることが必要であり、そのためには、特定非営利活動法人に移行すべきであると考えました。

特定非営利活動法人への移行につきましては、令和7年度総会及び設立総会において詳しくご説明いたします。是非ご出席をいただければ幸いです。

特別非営利活動法人の発足と令和8年度の活動開始に向けて、友の会の事業を円滑に継承していきたいと考えております。会員各位からご理解をいただき、ご賛同をいただきますようお願いを申し上げます。

令和7年度総会 及び 特定非営利活動法人設立総会の開催について (ご案内)

日 時 5月17日(土) 14:00から **会 場** 阿賀野市立吉田東伍記念博物館

議 題 ○令和7年度総会

令和6年度事業報告及び決算・監査報告、令和7年度事業計画案・予算案、役員の変更について、
特定非営利活動法人への移行について、その他

○特定非営利活動法人設立総会 (総会終了後)

特定非営利活動法人の設立について
(設立趣旨書、定款、役員名簿、事業計画書など)、その他

出欠確認 5月12日(火)までに同封の返信用葉書でご連絡ください。

その他 ○終了後に16:30から懇親会を開催します。

会場：亀田屋(阿賀野市保田)

会費：5,000円(当日徴収します)

令和7年度会費を納入ください

会費 (年額)

— 一般：2,000円
学生(大学生以下)：500円
家族会員：3,000円
賛助会員：1口10,000円

- 会費の納入は振込用紙を使用するか、直接、博物館の受付でお支払いください。振込の場合は手数料をご負担ください。
- 本通信と行き違いで既に会費を納入された場合はご容赦願います。

どうしてNPO法人に？

Q1. NPO 法人化を目指すのはなぜですか？

友の会会長も「友の会通信」巻頭で述べていますが、法人格を持つことで、まず「社会的信用」や「信頼」が得られます。これにより行政との関わり合いをさらに深めていくことができ、従来の活動のみならず、博物館の安定した運営に関わっていくことも可能になります。

Q2. 現在の友の会会員は社員と呼ばれるのですか？

法律上、確かに社員という名称になりますが、一般的には「正会員」と呼ばれることが多いです。また私たちが目指しているNPO法人の社員（正会員）は、議決権を持って総会に出席し、運営に参加することができます。

つまり、今までの友の会会員と同じ権限を持つことになります。

Q3. 社員（正会員）になることで、今まで以上の責務は発生しますか？

その心配はありません。事業等の運営や会費等の処理は、社員（正会員）の中から選出されたメンバーで構成される「理事会」が行います。この理事会は、従来の「友の会運営委員会」と同等と考えて良いでしょう。

なお、会費の額も変更ありません。

Q4. 活動は来年度からなのに、今年「設立総会」をするのはなぜですか？

設立総会とは、いわば「よし、これから本当にNPO法人になるぞ！」という意思表示を書面に記録するためのもので、申請書類の一部になります。その後、各種審査を経て、認証決定通知書受領、法人設立登記という流れになります。設立総会は法人の趣旨に賛同する人（社員になる意思のある人）で行いますので、社員（正会員）になる前でも参加できます。

令和8年度から正式にNPO法人としての活動が始まれば、今まで以上に会員の皆さんがワクワクするような事業展開を目指してがんばりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

（友の会事務局）

サークルだより

星空への招待 in 十五夜祭り

昨年9月14日(土)、安田八幡宮例祭の宵宮に合わせて、博物館駐車場にて月と土星の観望会を開催しました。

午後7時からの案内でしたが、6時30分ごろには準備も完了し、月齢11の月も良く見えていたので、早めに開始しました。

小一時間ほどして土星が見えるようになったので、後半はその可愛い姿を楽しんでもらえました。

宵宮に遊びに来た中学生たちも興味津々で、男の子たちは「スゲー！」と声を上げ、女の子たちは「ヤバ」と静かに笑う感じが面白かったです。

午後9時頃に終了しましたが、就学前のお子さんから高齢者まで、参加者を数えたカウンターは、144を指していました。

（サークル「友の会天文部」責任者：廣田正博）



研修旅行「会津坂下町の城氏の遺跡を訪ねる」に参加して

友の会会員（サークル「白河荘を歩く会」責任者） 小 林 弘

2024年6月24日、白河荘に政治拠点を置いた城氏と、関連深い福島県会津坂下町の史跡巡りをしました。友の会では、以前にも同地の史跡巡りを実施しましたが、世代が変わり人も変わったので、再度行事として会津坂下町に赴くことになりました。コロナ禍でこれまで会の活動は停滞していましたが、久しぶりの行事となり12名の参加者で実施しました。案内役として会津坂下町埋蔵文化財センター友の会の、松本幹生先生より現地の歴史など説明を受けました。

立木観音（金塔山恵隆寺）で松本先生と合流。寺伝によれば本尊は大同3年（808年）、空海が根を張る状態で立木に彫刻した一本造の千手観音で、高さ8.5mで日本最大級の立木仏と説明があり、見上げながらその大きさに圧倒される。次に宇内薬師に向かい、平安時代の仏像を見学。立木観音同様一本造りの薬師如来像で国指定文化財とのこと。共に12世紀代の作で、一本造りであることが共通点である。この時期、木彫の仏像製作の主体は一本造が通有であることが再認識できました。感心したのは、町内の仏像を専門家に細かく視てもらって調査されている点は評価したいと思います。

次の陣が峰城は、現況畑地で2002～2006年にかけて調査が行われ国指定史跡です。出土遺物は、12世紀第1四半期～第3四半期の遺物が出土し、城氏の年代と一致し、城氏の城と考えられています。12世紀代の城郭は越後では希少で、松本先生の説明を聞きながら、普段見ることの無い城氏時代の城館遺跡を、興味深く現地見学をしました。特に、三方を深い二重堀が巡り圧倒された。陣が峰城の西方の丘陵には、雷神山経塚があるということです。阿賀野市の横峰経塚と、城氏の時期が一致し、多数の威信財が出土した大坪遺跡や、奥州藤原氏関連の中尊寺や、毛越寺周辺には藤原氏時代の経塚群があり、共通点が窺えて興味深い。

昼食はこの付近では名物・松林閣の蕎麦を食しました。和風の作りの落ち着いた雰囲気、雑談を交えて皆さん賑やかに楽しく昼食を食しました。

次に、国指定の青津古墳群の亀ヶ森古墳・鎮守森古墳を見学しました。両古墳は、ほぼ同時期の築造で、4世紀後半です。亀ヶ森古墳は、東北最大級の前方後円墳で、葺石や円筒埴輪が出土しています。新潟県内で埴輪が出土しているのは、魚沼市の飯綱山古墳群10号墳で壺形埴輪、新潟市東区山木戸の牡丹山古墳で円筒埴輪の例がある位で非常に少ない。素人考えで、埴輪の無い古墳と、有る古墳の違い何なのか。埴輪の役割など疑問に思った。隣接する鎮守森古墳は前方後方墳で古墳の形態が異なる点が、異文化がまさに出会った場所のようで重要な場所であることが窺え、松本先生の説明の青津（会津の語源）の地名を裏付けているようで想像をわきたせました。

次に、埋蔵文化財センターを見学しました。陣が峰城出土の遺物が展示されており、貿易陶磁の白磁が展示してあった。城氏の12世紀代は、白磁主体の時期で威信財の白磁四耳壺、水注が目を引く。陣が峰城で戦場になったことが窺える多数の雁股鍬や、炭化米があり、生々しい当時の様子や時代背景を想定できそうな遺物がありました。

最後に、今回多忙の中時間を作って案内頂いた松本先生、埋蔵文化財センターの吉田博行先生、渡辺智子先生他職員の方には大変お世話になりました。また参加者の皆さんに、この場を借りて感謝申し上げます。



初夏の研修旅行

「白根大風合戦と新潟市南区の歴史散歩」のご案内

恒例のバス研修は、300年の歴史をほこる県指定無形民俗文化財「白根大風合戦」を見学します。友の会会員以外の方の申し込みも可能です。お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

期 日 **6月5日(木)**

集合時間・場所 8:30 阿賀野市役所 → 8:45 安田体育館

見学地(予定) 旧笹川家住宅、曾我・平澤記念館、白根大風合戦、しろね大風と歴史の館、新潟市アグリパークほか
(雨天で大風合戦中止の場合は一部行程を変更して実施)

帰着時間(予定) 18:15 阿賀野市役所、18:30 安田体育館

参 加 費 **8,000円**(含バス代・昼食代・入館料・保険料等)

定 員 **25名**(先着順) ※最少催行人数15人

現地案内 **永井 弘** さん(建築士、友の会会員)

お申し込みは

5月29日(木)までに
友の会事務局(博物館内)へ

※保険加入のため申し込み時に
生年月日をお聞かせください。

友の会伝言板 事務局より

- ボランティアしながら歴史の勉強 <文字校正ボランティア募集中!>
新年度事業として、旧安田町時代の『広報やすだ』に連載されていた『郷土歴史散歩』のデジタルベス化を計画しています。しかし、印刷物からの文字起こしのため、どうしても誤変換が起きてしまいます。そこで、皆様から文字校正のボランティアを行っていただくと大変ありがたいです。
現在、先行して博物館フリースペースに一部置いてあります。出来る範囲で結構ですから、よろしくお願いします。
- 頼勝寺様(友の会賛助会員)の音楽会
「チェンバロ&オーボエアンサンブル」
日時：4月27日(日) 13:45 開演。
会場：頼勝寺本堂(阿賀野市保田)。入場無料。
問い合わせ先：宝珠山 頼勝寺 (Tel.0250-68-2433)。
- 『新潟県考古学会連絡紙』第143号(2025年2月発行)に小熊博史さん(新潟県考古学会会長)執筆の「吉田東伍の手稿「ツベタ発見古代土器説」について」が掲載されました。
- 友の会会員の百都政弘さんの写真展が開催されます
百都政弘写真展「日本の城(現存12天守)」
会場：蕎麦処阿弥陀瀬ギャラリー「蔵」
(五泉市阿弥陀瀬、Tel.0250-58-7823)
会期：5月12日(月)まで(土・日・月曜のみ営業、11:30~17:00)
- 新規の会員と賛助会員を募集しています。
ご近所、ご家族、ご友人にお声がけをお願いします。
- 博物館、友の会、友の会天文部の最新情報は友の会ホームページやSNSでご覧ください。



友の会・天文部 X(旧Twitter)



博物館 X(旧Twitter)



友の会 HP



旧旗野邸(吉田東伍生家)庭園の松の剪定作業
(令和6年2月16日撮影)

編集後記

2025年は友の会設立から26年。NPO法人への移行は、大きな決断です。運営委員会でもメリット、デメリットを検討して、様々な議論を続けてきました。「ためらいをこえて一歩前へ、今がその時」。運営委員一同、意見は一致しました。博物館と友の会の連携は、新しい段階に進みます。(事務局T)